



# 子どもが安心・安全に暮らせる環境づくりを

高松 幸雄 議員

## 登下校時の安心・安全の確保は重要と考える

教育長

新潟市で下校中の7歳の女子児童が殺害された。再発防止策として政府は登下校防犯プランの策定を決め、今年の9月末までに通学路の緊急合同点検をし、危険箇所を確認することになったが進捗状況及び具体的な対策は。

**教育部長** 現状は、通学路の危険箇所等の洗い出しをする準備をしている段階で、的確な情報把握をし、状況に応じた具体策を講じ、このプランに基づき子供たちの安心・安全を確保していく考えだ。

学校から距離がある子どもが一人で歩く一人区間について、どのように対処していくのか。

**教育部長** 登下校時の安心・安全の確保は重要と考える。現在、学校では、防犯教室の実施、自己防衛、入学時の防犯ブザーの配付など児童・生徒に防犯意識を高める指導をし、保護者にも防犯に対

する啓発をしている。大阪北部地震で、通学路のブロック塀が倒壊し、登校中の4年生の女子児童が死亡した。当市でも調査した結果、立田南部小、立田北部小、八輪小、勝幡小、立田中の5校の7カ所で現行の建築基準法に適合していないブロック塀が見つかり、8月末までに改修する方針を固めたが、その後の進捗状況及び、どのような改修が施工されたのか。また、通学路に面した民間建築のブロック塀等を撤去する際、工事費用を補助する制度が導入されたが、開始時期や対象、補助額は。また、周知方法は。

**教育部長** 7月中旬に4カ所の建築基準法に適合していないブロック塀を撤去し、8月中旬に3カ所のフェンス等を設置する改修を完了した。

**産業建設部長** 倒壊、転倒のおそれがあるブロッ

ク塀、煉瓦や石の塀の撤去に対し、10月から施行できるように準備をしている。補助金は、ブロック塀等の撤去に要した経費が撤去したブロック塀等の延長に1m当たり1万円を乗じた金額のいずれか少ないほうの2分の1の額で、10万円を上限として、20件分の総額200万円を計上した。撤去制度の周知については、広報、回覧、ホームページなどでしていく。

豊田市で校外学習に参加した小学1年生の男子児童が教室に戻った後に熱射病で亡くなった。当市では児童・生徒の熱中症を防ごうと、来年6月までに小・中学校の全普通教室200室にエアコンを整備することが決まったが、設置費用の財源は。

**教育部長** 学校施設環境改善交付金、公共事業整備基金、合併特例債などを予定している。



▲NPO法人ママプラスの防犯教室風景（佐屋西小）